

詩 十二月のうた

熊はもう眠りました
栗鼠もうつらうつら
土も樹木も
大きな休息に入りました

ふつと
思い出したように
声のない 子守唄
それは粉雪 ぼたん雪

師も走る
などと言って
人間だけが息つくひまなく
動きまわり

忙しきとひきかえに
大切なものを
ぼとぼと 落としてゆきます